

# 施肥設計支援システムの開発

—施肥なび—

## Development of ICT system for agricultural applications -Sehi Navi-

\*鈴木 翔一、谷川 法聖\*1、佐藤義人\*2  
(\*1 農林総合研究所、\*2 畜産研究所)

農林総合研究所では、これまでに地域別・土壌類型別の施肥基準、土壌診断に基づく施肥基準や堆肥養分量に応じた施肥技術等を普及情報としてきた。しかし、実際に施肥設計を決める際には、複数の肥料成分の施肥（減肥）基準等の情報を考慮して煩雑な計算をする必要があるため、施肥量低減技術があっても現状では農家にとっては取り組み難いものとなっている。肥料価格は今後も高値基調で推移することが予想されており、土壌蓄積養分や堆肥の養分などを活用した効率的な施肥により、肥料コストを低減することはこれからの農業経営の重要な課題となっている。この課題を解決するため、簡単な操作で最適な土壌改良・施肥量・肥料コストを一体的に提案できる「施肥なび」(<http://www.aomori-itc.or.jp/sehisekkei/>)を開発した。土壌診断値や育てる作物を入力することで最適な施肥量を計算でき、堆肥による減肥計算も可能である。

開発したシステム「施肥なび」(<http://www.aomori-itc.or.jp/sehisekkei/>)